



大正初期の吉野の桜花、吉水神社から中千本
大和名勝写真帖より



昭和 30 年代 太閤花見塚あたりから蔵王堂から中千本あたり。
バスはボンネットバスで観光車道はまだできていない。

写真提供：本迫宏典氏



現在 平成 28 年 吉野の桜 下千本

【36】吉野の桜

奈良時代、役行者が蔵王権現像を桜の木で刻んで本尊にしたことから、神木として保護された。厳しく伐採を禁じ、寄進や献木が盛んにおこなわれた。下千本、中千本、上千本、奥千本と標高差 550m を約一か月かけて桜花が上っていき長く楽しませてくれる。

1594 年の太閤秀吉の総勢 5 千人に及ぶ大花見。その後、西行法師が庵を結び、松尾芭蕉が訪れた。

明治初期には廃仏毀釈で一時すたれた時期もあったが、鉄道の開通、昭和 4 年のロープウエーの開通（国内現役最古）で賑わいを取り戻した。